

第1学年 国語科学習指導案

1年2組

19名

指導者

喜井廉平

1 単元名 のりものじまん大会をしよう 「いろいろなふね」(東京書籍 1年下)

2 指導にあたって

(1) 単元設定の理由

本学級の学習者は、読書に対する関心が高く、教室に置かれた図鑑などの写真を楽しそうにながめている姿もよく見かける。しかし、自分の知りたいことについて、本などの情報を集めたり、整理したりする経験はない。また、朝の活動を通して、みんなの前で話すことに慣れつつはあるが、相手に分かるように話すという意識は十分に育ってはいない。6月単元「『どうぶつのはな』クイズ大会をしよう」では、動作化などを通して読み取った動物の鼻の特徴や働きを、クイズの形で幼稚園の子どもたちに紹介した。その中で、生きるために、鼻の特徴(かたち)と働きが密接に結びついていることに気付き始めた。また、「もっといろいろな例を調べたい」「調べたことを発表するのはおもしろい」という声が聞かれた。

この調べたことを発表したいという学習者の意欲を受け、本単元「のりものじまん大会をしよう」を展開する。自動車や飛行機をはじめ、乗り物について書かれている図鑑や本は、多種多様にあり、いろいろな乗り物について調べたいという学習者の意欲に応えてくれるであろう。また、「じまんたいかい」とネーミングすることにより、それぞれの乗り物の「役目」や「工夫」に着目させたい。乗り物は学習者の身近な存在であり、読む中で、自分の身の回りのものは、「役目」と「工夫(特徴や構造)」が密接に結びついていることを実感できるであろう。さらに、幼稚園の子どもたちに伝えようとする場を継続して位置づけることにより、相手に分かるように伝え方や話し方を工夫しようとする意識が定着すると考えた。

本単元で使用する共通教材「いろいろなふね」は、4種類の船の写真とその説明が組み合わせられている。それぞれの船について、まず、「どんなはたらきがあるのか(役目)」を述べ、次に、「そのためにどのような工夫があるのか(工夫・構造)」について述べるといった構成で書かれている。「他の乗り物はどうなのだろう」という関心を広げるとともに、読み広げる視点(役目と構造の結びつき)を示してくれる。さらに、説明するための基本的な文型や表現がいくつか示され、これを活用する中で、相手に分かりやすく説明する力が育つと考えられる。

本単元の導入前に、乗り物について書いてある図鑑や本を集めよう(「1の2 のりもの文庫」と声をかけ、乗り物に付いての関心とともに、図書についての関心も高めておく。その際、公共の図書館を利用することも紹介する。写真や模型なども掲示し、環境を整備する中で、学習意欲を高めたい。導入段階では、自分たちの体験や知っていることを発表し合い、その中から「役目」や「工夫(構造)」に目を向けさせる。共通教材を読み取る際には、共通教材に示されている「説明するためのことばや文型」(お宝)をカードに書き、語句に対する関心を高めたい。また、写真や絵、必要に応じて模型などを見せることにより、役目と工夫(構造)が密接に結びついていることを実感させたい。このことが、他の乗り物について読み広げるときの基礎になると考える。複数教材へと読み広げる際、「自動車コーナー」「汽車・鉄道コーナー」「船コーナー」「飛行機コーナー」と4つのグループに分ける。それぞれの違いや似ている点に気付く中で、乗り物への関心や「役目」や「工夫」に関する認識がさらに高まると考える。本時は、自分が選んだ乗り物について説明する文を書く。1人が1つの乗り物を担当することにより、活動への意欲を高めたい。読むことと表現することと結ぶ中で、教材文のよさや特徴に気付かせたい。

(2) 活用する力の育成を図るために

本単元における活用する力を育成する場合は、第3次の自分が興味をもった乗り物について、図鑑や本を読み広げる場と、第4次の自分が決めた乗り物の説明を書く場である。学習者が複数教材を自由に読み広げる際、書かれていることを整理し、役目や工夫(構造)の関係に着目して読むことができるようにしたい。共通教材の読みを生かすことができるようなワークシートを作ったり、色別カード(付箋)を利用したりする。本時である説明文を書く際には、共通教材に示されていた「説明するためのことばや文型」を「お宝」という形で掲示するとともに、それらの文型(お宝)を使って文章をつくる過程(モデル学習)を位置づけるなかで、役目や工夫について表現する力を育成したい。

3 単元の目標

(1) 学習者の活動目標

のりものじまん大会をしよう。

(2) 指導目標

乗り物に関する本に興味をもち、楽しんで読むことができるようにする。

事柄を表すことばに気を付けながら、ことばや文のつながりや関係を意識して読むことができるよう
する。

書こうとする内容をはっきりさせて、説明するための文を書くことができるようにする。

説明するための語句に関心をもち、進んで使うことができるようにする。

4 単元の評価

	評価規準	「十分満足できる」と判断される状況 「おおむね満足できる」状況にするための手だて	評価の資料
関心 ・ 意欲 ・ 態度	乗り物に関する本に興味をもち、楽しんで読もうとしている。	自分の読みたい乗り物の本を見つけて、他の本や乗り物と比べながら進んで読んでいる。 乗り物に関する本のコーナーを教室に設けたりして、写真や実物を示すなかで、乗り物の「役目」と「工夫」のおもしろさを実感させる。	・学習者の様子 ・発言 ・集めた本の種類や冊数
読む こと	乗り物の「役目」や「工夫」に該当する記述を見つけ、その結びつきについて考えている。	他の乗り物の「役目」や「工夫」に該当する記述を見つけ、くらべるなかで、特徴を整理している。周囲のものも「役割と結びつき」が密接に結びつき合っていることを実感している。 色別のカードや付箋などを使って読み取ったことを整理できるようにする。	・学習者の様子 ・発言 ・付箋の貼られている位置
書く こと	「役目」や「工夫」に該当する記述を使いながら、書いている。	基本文型を使って、乗り物の様子などを生き生きと書いている。 参考例を示したりして、書きやすいように手引きする。	・ワークシート
言語 事項	文中の説明するためのことばに興味をもち、いろいろな場面で使っている。	よく似たことばを見付けたり、説明するためのことばのよさに気付いたりしている。 ことばを様々な使った例を示したり、お宝カードに書いたりする。	・ワークシート ・発言

5 学習計画

学習活動	学習者の意識の流れ	主な指導・支援	身に付けさせたい力							
<p>事前</p> <p>乗り物に関する本や写真などを掲示したり集めたりする中で、乗り物に対する関心を高める。</p>	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:33%; padding: 5px;">乗り物についての本がたくさんあるよ。読んでみたいね。</td> <td style="width:33%; padding: 5px;">動物のはなのクイズ大会は楽しかったね。またクイズ大会のようなことしてみたいね。</td> <td style="width:33%; padding: 5px;">問いかけ・答え・説明のかたちでうまくクイズが作れたね。</td> </tr> </table>	乗り物についての本がたくさんあるよ。読んでみたいね。	動物のはなのクイズ大会は楽しかったね。またクイズ大会のようなことしてみたいね。	問いかけ・答え・説明のかたちでうまくクイズが作れたね。	<p>自動車・飛行機・汽車・船など、乗り物によってコ-ナ-をつくっておき、乗り物に対する関心を高めておく。</p>	<p>自分が調べたい事柄に関する本を集める。</p>				
乗り物についての本がたくさんあるよ。読んでみたいね。	動物のはなのクイズ大会は楽しかったね。またクイズ大会のようなことしてみたいね。	問いかけ・答え・説明のかたちでうまくクイズが作れたね。								
<p>第1次 (1時間)</p> <p>「いろいろなふね」を読むなかで乗り物じまん大会を開こうという学習の方向を知る。</p>	<p style="text-align: center;">のりものじまん大会をしよう。</p> <p style="text-align: center;">いろいろなふねには、それぞれのふねの役目とそのため工夫をどのように書いているのだろう。</p>	<p>様々な乗り物の写真を示し、乗り物の種類や仕組みへの関心を高める。 クイズ大会の経験を思い起こさせ、読み取ったことをもとに表現しようとする意欲を高める。</p>								
<p>第2次 (4時間)</p> <p>ふねの役目と工夫を読み取る。 ・客船 ・フェリーボート ・漁船 ・消防艇</p>	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:33%; padding: 5px;">どのようなふねがとりあげられているのだろうか。</td> <td style="width:33%; padding: 5px;">同じふねでも役目によっていふんちがいがあるね。いろいろな工夫があるね。</td> <td style="width:33%; padding: 5px;">どのような文型を使用してふねの役目と構造を書いているのだろうか。</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">身の回りの乗り物っているいろいろな工夫をしているんだね。ほかにどんな乗り物があるか調べてみよう。</p>	どのようなふねがとりあげられているのだろうか。	同じふねでも役目によっていふんちがいがあるね。いろいろな工夫があるね。	どのような文型を使用してふねの役目と構造を書いているのだろうか。	<p>写真(必要に応じて絵)や色カ-ド(紹介:水色、役目:ピンク、工夫:黄色)に示す中で使い、書かれている内容や、文章の組み立てを読み取れるようにする。 説明するための基本的な文型に気付かせ、それをもとに表現しようとする意欲を高める。</p>	<p>ことばや文のつながりや関係を意識して読む。</p> <p>説明するための基本的な文型やことばを見つける。</p>				
どのようなふねがとりあげられているのだろうか。	同じふねでも役目によっていふんちがいがあるね。いろいろな工夫があるね。	どのような文型を使用してふねの役目と構造を書いているのだろうか。								
<p>第3次 (2時間)</p> <p>乗り物の役目やそのため工夫に着目しながら乗り物文庫の本を読む</p> <p>・自由にいろいろな乗り物の本を読む。 ・乗り物の種類によってグループに分かれ、自分の担当を意識して読む。</p>	<p style="text-align: center;">乗り物に関する本を集めて、教室に「乗り物文庫」を作ろう。</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td>自動車</td> <td>汽車(鉄道)</td> <td>船</td> <td>飛行機</td> </tr> </table> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:33%; padding: 5px;">どんな役目をする乗り物があるのかな。(ピンクの付箋)</td> <td style="width:33%; padding: 5px;">どんな工夫がされているのかな。(黄色の付箋)</td> <td style="width:33%; padding: 5px;">説明の仕方が違うよ。挿絵がおもしろいな。(緑の付箋)</td> </tr> </table>	自動車	汽車(鉄道)	船	飛行機	どんな役目をする乗り物があるのかな。(ピンクの付箋)	どんな工夫がされているのかな。(黄色の付箋)	説明の仕方が違うよ。挿絵がおもしろいな。(緑の付箋)	<p>学習者の興味・関心に合わせて読み広げることができるよう本をそろえておく。 自由に読む時間と、めあてをもって読む時間を組み合わせる。 付箋を貼りながら読むことにより、様々な本に書かれている工夫や役目とともに、挿絵の使い方や説明の仕方(文型)などに関心を高める。 「役目」「工夫」など、文章の中における各文の役割を意識させるために、色別のカ-ドを用意し、記入できるように手引きする。</p>	<p>目的や必要に応じて本を選んで読む。</p> <p>ことばや文のつながりや関係を意識して読む。</p>
自動車	汽車(鉄道)	船	飛行機							
どんな役目をする乗り物があるのかな。(ピンクの付箋)	どんな工夫がされているのかな。(黄色の付箋)	説明の仕方が違うよ。挿絵がおもしろいな。(緑の付箋)								
<p>第4次 (2時間)</p> <p>自分の紹介したい乗り物を決め、「いろいろなふね」の文章をまねながら、乗り物じまん大会で発表する文章や絵をかく。</p> <p>・紹介したい絵を描く。 ・紹介する文章を書く。(本時2/2)</p>	<p style="text-align: center;">「いろいろなふね」の文章をまねながら、実際に書いてみよう。</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:33%; padding: 5px;">どんな乗り物を取り上げようかな。おもしろい工夫や役目がたくさんあるよ。</td> <td style="width:33%; padding: 5px;">「～から～です。」「～ための～です。」などの文型を使いながら書こう。</td> <td style="width:33%; padding: 5px;">身の回りにはいろいろな働きとそのため工夫がたくさんあるね。</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">幼稚園との交流会で、乗り物じまん大会を開こう。</p>	どんな乗り物を取り上げようかな。おもしろい工夫や役目がたくさんあるよ。	「～から～です。」「～ための～です。」などの文型を使いながら書こう。	身の回りにはいろいろな働きとそのため工夫がたくさんあるね。	<p>戸惑っている学習者に対しては、書き方のモデルを示すなど、個別指導をする。 使われている文型を板書で示し、(今日のお宝)を意識しながら書けるようにする。</p>	<p>伝えたいことが分かるように、文の組み立てに気を付けて書く。</p> <p>説明するための文型やことばを使う。</p>				
どんな乗り物を取り上げようかな。おもしろい工夫や役目がたくさんあるよ。	「～から～です。」「～ための～です。」などの文型を使いながら書こう。	身の回りにはいろいろな働きとそのため工夫がたくさんあるね。								
<p>第5次 (3時間)</p> <p>のりものじまん大会を開く。</p> <p>・発表の練習をする。 ・学級内でリハ-サルをする。 ・幼稚園の子どもの前で発表する。</p>	<p style="text-align: center;">グループに分かれて、練習しよう。学級内でリハ-サルをしよう。</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:33%; padding: 5px;">自動車グループは、どんな順番で紹介しようかな。</td> <td style="width:33%; padding: 5px;">役目や工夫を伝えるために、挿絵を使いながら話そう。発音や声の大きさに気を付けよう。</td> <td style="width:33%; padding: 5px;">自動車にも船にも、似たところがあるよ。もっと本を読んでみたいね。</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">いろいろなじまんがある乗り物っておもしろいね。もっと知りたいね。</p>	自動車グループは、どんな順番で紹介しようかな。	役目や工夫を伝えるために、挿絵を使いながら話そう。発音や声の大きさに気を付けよう。	自動車にも船にも、似たところがあるよ。もっと本を読んでみたいね。	<p>それぞれの乗り物のおもしろさを楽しみながら聞けるように、発表の順序を工夫する。 描いた絵や資料などがうまく使えるよう、実際に演じて見せる。 積極的に学習者のよさや成長を評価し、自信をもって交流会で発表できるようにする。</p>	<p>相手の顔を見て、はっきり話す。</p> <p>姿勢や口形に注意して、はっきりした発声・発音で話す。 幼稚園児という相手を意識しながら、分かりやすく話す。 他の乗り物についての本を意欲的に読む。</p>				
自動車グループは、どんな順番で紹介しようかな。	役目や工夫を伝えるために、挿絵を使いながら話そう。発音や声の大きさに気を付けよう。	自動車にも船にも、似たところがあるよ。もっと本を読んでみたいね。								

6 本時の学習

(1) 目標

学習者の活動目標

自分が選んだ乗り物を紹介する文を書こう。

指導目標

「いろいろなふね」の文型を使いながら、役目や工夫を説明する文章を書くことができるようになる。

(2) 展開

学習活動	指導・支援	具体的評価規準	評価の資料
1 選んだ絵(写真)を見せながら、自分が好きなところやおもしろいと思ったところを話し合う。	選んだ乗り物の特徴を発言させるなかで、紹介文を書こうとする意欲を高める。		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> じぶんがえらんだのりものをしょうかいするぶんをかこう。 </div>			
2 「いろいろなふね」で出合ったいろいろな文型(お宝)の、どれを使うか話し合う。	指導者の例をもとにして、全員で1つの紹介文を作ることにより、活動のイメージをもてるようにする。 どのお宝を使うか考えさせ、自分のめあてをもてるようにする。	説明するための文型やことばの使い方を理解している。	学習者の様子 発言
3 自分が選んだ乗り物を紹介する文を書く。	「役目」「工夫」など、文章の中における各文の役割を意識させるために色別のカードを用意し、記入できるよう手引きする。	説明するための文型やことばを使っている。	ワークシート
4 お宝を使って書いた文章を発表する。	書いた文章や使ったお宝を発表する中で、幼稚園との交流会に向けての意欲がもてるようにする。		

(3) 本時の評価

「十分満足できる」と判断される状況	基本文型を使って、乗り物の様子などを生き生きと書いている。
「おおむね満足できる」状況にするための手だて	黒板に示された基本文型やことば(お宝)を、どのように使えばよいか、いくつか書き方のモデルを具体的に示す。基本文型やことばを「お宝」とネーミングし、使おうとする意欲を高める。